

科目区分	教養科目	授業科目名	経済学				科目コード	26B005	担当者	林 徹			担当形態	単独
対象学科・コース	生活創造学科	配当年次	2年次	開講学期	秋学期	単位数	2	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	社会福祉主事任用資格			
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分		
実務の経験を有する教員担当科目	該当	実務の経験内容及び科目との関連	勤労学生として割箸小売商（横浜市中央区）において割烹・懐石・中華・その他飲食店・弁当工場などの取引（御用聞き・納品・集金など）、視覚障がいをおもちの内職さんとの取引、その他の実務の紹介。									科目に含めることが必要な事項		

授業の主題	資産運用の感覚をボードゲーム(モノポリー)を通して体得する。他方で、ホットな経済トピックや身近な事例を取り上げて、専門的な考え方や見方の基本を講義する。							課題等への対応(フィードバックの方法等)	テキストの一部を読んで、800字程度の課題レポートを執筆。要件を満たしていれば満点として受け取るが、満たすまで必要な添削指導を実施する。			
授業の方法	ボードゲームを通して資産運用の感覚を体得させる。グループ単位または個人単位で、体得した知識の一部を応用して、小演劇またはレポート発表によって表現させる。							アクティブ・ラーニングの実施方法	ボードゲーム対戦(必須)、ならびに、グループ単位での小演劇(レポート課題の代替)。			

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	ガイダンス、デモンストレーションによるルールの理解	教科書の図と表に目を通して疑問点を整理	第9回	個人対戦(3)	レポート課題に必要な教科書の講読	
第2回	グループ対戦(1)	公式ルール(日本語版)の確認	第10回	個人対戦(4)	教科書の表に基づいて不動産をめぐる税の確認	
第3回	グループ対戦(2)	銀行係(教科書の付録)の仕事の確認	第11回	小演劇またはレポート発表(1)	教科書の表に基づいて資金調達の方法の確認	
第4回	公式ルール、専門用語、定石の理解	すべての権利証の確認	第12回	小演劇またはレポート発表(2)	教科書の表に基づいて不動産取引に関係する民法の確認	
第5回	個人対戦(1)	教科書の図と表に基づいて専門用語の疑問点を整理	第13回	個人対戦(5)	不動産取引(交換、売買、競売)の交渉術の確認	
第6回	個人対戦(2)	教科書の図と表に基づいて重要な専門用語を確認	第14回	個人対戦(6)	ストックとフローの確認	
第7回	関連する専門知識(1)・・・資産運用、複式簿記、抵当権、銀行	抵当権、根抵当権をめぐる登記簿記載事項の整理	第15回	テキストに関してまたは講義全体を振り返っての意見交換と質疑応答	レポート課題の反省と定期試験対策	
第8回	関連する専門知識(2)・・・処世術・交渉術、土地・税制、民法	住宅ローン、事業用運転資金の担保の意味の確認			事前・事後学修時間(分/授業1回)	180分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	モノポリーで学ぶビジネスの基礎(第3版)/林徹/中央経済社	受講生へのメッセージ	ボードゲームを楽しみながら資産運用(経済・金融等)の知識を身近なものとして体得してください。定期試験ではテキストの持ち込みを認めます。テキスト、講義資料、講義ノートは、社会人になってから学びなおすための貴重な財産です。社会人になってからも折にふれて読んでください。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

評価基準																
	学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	配点 学修成果率(%)	評価方法の配点比率(%)					学修成果の小分類			尺度				
				定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S:100~90%)	レベル4 (A:89~80%)	レベル3 (B:79~70%)	レベル2 (C:69~60%)
卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)	尽心	① 学習意欲	10		10				対戦相手に対して誠実さを表現できる。	対戦相手と自身の利害を説明できる。	対戦記録とレポート課題の提出(または小演劇)。	ビジネスの基礎に関する知識を十分に有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を十分に有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識が不十分であり他者に説明できない。
		② 規律性	10			5		5	対戦相手に対して誠実さを表現できる。	対戦相手と自身の利害を説明できる。	対戦記録とレポート課題の提出(または小演劇)。	ビジネスの基礎に関する知識を十分に有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を十分に有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識が不十分であり他者に説明できない。
	知識・技能	③ 知識	40	40					ビジネスの基礎(テキスト)と公式ルールを第三者に説明できる。	経営の司令塔としてストックとフローの動態を説明できる。	定期試験による。	ビジネスの基礎に関する知識を十分に有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を十分に有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識が不十分であり他者に説明できない。
		④ 技能	5					5	対戦相手に対して誠実さを表現できる。	対戦相手と自身の利害を説明できる。	対戦記録とレポート課題の提出(または小演劇)。	ビジネスの基礎に関する知識を十分に有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を十分に有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識が不十分であり他者に説明できない。
	創造	⑤ 情報活用能力	5					5	対戦相手に対して誠実さを表現できる。	対戦相手と自身の利害を説明できる。	対戦記録とレポート課題の提出(または小演劇)。	ビジネスの基礎に関する知識を十分に有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を十分に有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識が不十分であり他者に説明できない。
		⑥ 課題解決力														
	表現	⑦ 言語活用能力														
		⑧ コミュニケーション力	10			5		5	対戦相手に対して誠実さを表現できる。	対戦相手と自身の利害を説明できる。	対戦記録とレポート課題の提出(または小演劇)。	ビジネスの基礎に関する知識を十分に有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を十分に有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識が不十分であり他者に説明できない。
	実践	⑨ 主体性	10			5		5	対戦相手に対して誠実さを表現できる。	対戦相手と自身の利害を説明できる。	対戦記録とレポート課題の提出(または小演劇)。	ビジネスの基礎に関する知識を十分に有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を十分に有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識が不十分であり他者に説明できない。
		⑩ 協働性	10			5		5	対戦相手に対して誠実さを表現できる。	対戦相手と自身の利害を説明できる。	対戦記録とレポート課題の提出(または小演劇)。	ビジネスの基礎に関する知識を十分に有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を十分に有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識を有しており他者に説明できる。	ビジネスの基礎に関する知識が不十分であり他者に説明できない。
合計			100	40		30		30								